



3. 卵子、胚および卵巣凍結の現状

1) 未成熟卵子凍結

妊娠・出産例は1例のみ

緩慢凍結・急速融解で成功。ガラス化法も検討中

2) 成熟卵子凍結

妊娠・出産例は約100例と少ないが、急速に増加

緩慢凍結・急速融解からガラス化法に移行

3) 胚凍結

パートナーが決まっている場合に適応

胚あたりの着床率10-20%、臨床技術として確立

4) 卵巣凍結

自家正所性移植により1例出産、多数の卵子保存に期待

凍結融解法（緩慢凍結・急速融解）はほぼ確立；

臨床応用可能（？）

卵子凍結保存の問題点

成熟排卵卵子 (Metaphase II)

- 1) 微細な刺激に反応して発生開始
→活性化による受精障害
- 2) 染色体構造が温度感受性
→染色体異常による発生停止

